

ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）感染の検査や治療を健康保険で行うのには、胃・十二指腸潰瘍や内視鏡で認められた胃炎があるなどの条件がありますが、保険適応の疾患の他にも感染と関連のあるものがあります。

パーキンソン病は原因が不明で、手足

のふるえ、すくみ足や小刻み歩行などの歩行障害、緩慢な動作、体のバランスの悪さ、嚥下障害などの症状が見られる病気です。2006年に「Neurology」という医学誌に、パーキンソン病を治療中でピロリ菌感染のある患者さんに除菌治療を行ったところ、治療に用いる「L-dopa」の



福本 学

内科

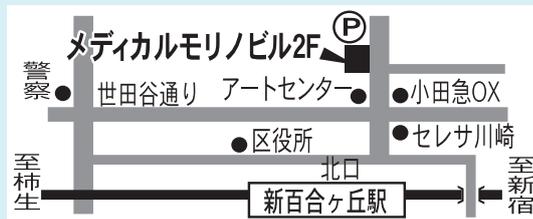
新百合山手福本内科

☎ 044-955-8877

麻生区万福寺 6-7-2

メディカルモリノビル 2F

<http://www.fukumotonaika.jp/>



吸収が改善し、運動症状が改善したという論文が掲載されました。ピロリ菌によつて起こった萎縮性胃炎で胃酸分泌が低下した状態が、治療により改善するためと考えられます。パーキンソン病の症状があれば、内視鏡で胃炎の有無を調べることをおすすめします。